

クマによる人身被害の発生と注意喚起

○8月29日(土)、浜松市天竜区春野町において、森林内で調査を行っていた森林組合の職員がツキノワグマと遭遇し、軽傷を負う人身被害が発生しました。

○この被害はクマが生息する地域で「出会い頭」に発生した事例ですので、森林内での作業や山での行楽等に際しては「出会わない対策」を行うようお願いします。

○県では、ホームページで県内のクマ目撃情報を公開していますので、山にお出かけの時などの参考にしてください。また、クマの生態や行動、出会わないための工夫を知る出前講座を実施していますので、ぜひ活用してください。

<クマに出会わない対策>

- ・山に入る時は、鈴やラジオを鳴らす、複数人で話すなど、自分の存在を知らせる。
- ・クマの活動が活発になる早朝や夕方、暗がりの行動は避ける。

<クマに出会ってしまった時の行動>

- ・刺激しないように落ち着いて、背を向けずに静かに後ずさりする。(背を向けて走って逃げると追いかけてくる習性があり、とても速いので逃げ切るのは難しい)
- ・襲われそうになったら、うつ伏せになって頭と首を守る。
- ・クマ撃退スプレーも有効なので、山に入る時は携行し、射程距離で噴射する。

<県内のクマ目撃情報の公開>

県ホームページにおいて、市町に寄せられた情報を基に、目撃情報をマップ上に掲載し公開しています。場所や日時もひと目で分かります。

○県ホームページ 静岡県のツキノワグマ・クマの目撃情報

<https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/shizenkankyo/wild/1017680.html>

<クマを知る出前講座>

クマの生態や行動、出会わないための工夫を知る出前講座を実施しています。県の職員が学校などを訪問しますので、ぜひ活用してください。開催は、県自然保護課にご相談・お申し込みください。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/shizenkankyo/wild/1081624.html>

<県内のクマによる人身被害の発生状況>

近年、平成25年以降は、令和3年に2件、4年に1件発生しており、今回は4年ぶりの発生となります。いずれもクマが生息する地域付近で出会い頭に軽傷を負った被害です。

令和3年8月6日	浜松市天竜区 水窪地区	自宅から離れた場所で飼育していた猟犬の餌やりに行った際に腕を噛まれ軽傷
令和3年10月29日	小山町	農作業中に腕を噛まれ軽傷
令和4年7月17日	静岡市葵区 井川地区	林業有害駆除の見回りの際にわなにかかった子グマの近くにいた母グマに襲われ軽傷
令和8年8月29日	浜松市天竜区 春野地区	森林組合の職員が森林内で調査を行っていた際に腕をひっつかかれ軽傷

<県内のクマの目撃(出没)状況>

全国的に大量出没年となった令和5年以降、県内の目撃件数は増加しています。

東北や北海道を中心に都市部への出没や人身被害が社会問題となった昨年は、県内の目撃(出没)件数も過去最多となる200件となり、冬眠明けの今春も5月にかけて目撃が非常に多い状況でした。

年 度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
目撃(出没)件数	20	41	82	21	121	156	200	82
うち4～8月分	12	22	50	14	30	94	61	82

○ クマを目撃した場合は、市町または県農林事務所へのご連絡をお願いします。

